

平成 30 年 9 月 6 日
北海道電力株式会社

社長記者会見 発言要旨（9 月 6 日 12 時 15 分）

胆振地方中部で発生した地震に伴い火力発電所が緊急停止し、需給バランスが保てず、水力発電所を含むすべての電源が停止し、北海道全域で現在も停電が継続中です。

本日午前中、苫東厚真発電所の再稼働に向けて作業を進めていましたが、1 号機（35 万 kW）・2 号機（60 万 kW）は、蒸気漏れを確認したこと、4 号機（70 万 kW）は、タービン付近から出火を確認したことから、少なくとも復旧には 1 週間以上かかる見通しとなりました。

こうした状況を受けて、苫東厚真発電所にかえて、既に立ち上がっている道内美唄：砂川間の水力発電所約 30 万 kW に加えて、砂川発電所 25 万 kW の再稼働を本日でできるだけ早い時間に行うべく、作業を進めているところです。

また、奈井江発電所 35 万 kW、伊達発電所 70 万 kW、知内発電所 70 万 kW などの火力発電所を早急に、できれば明日にも再起動させ、あわせて北本連系設備 60 万 kW を活用した本州側からの電力融通も行います。

これらの対応により 290 万 kW の供給力を確保できる見通しとなります。

しかしながら、北海道エリアの昨日のピーク需要は 380 万 kW となるため、こうした対応をとってもなお、火力発電所の復旧を待つて、少なくとも 1 週間以上かかる見通しとなります。

一部の地域には電気の供給が行われない期間が長引く可能性があることから、病院などの重要施設への電気の供給のため、電源車の配備も早急に進めてまいります。

また、電力各社からの電源車ほかの応援、また国からのご支援を受けながら早期の電力復旧に向けて全精力をあげて対応してまいります。

道民のみなさまには、電力復旧までの間、大変なご不便をおかけすることになり申し訳ございませんが、ご理解のほどよろしくお願いいたします。

以 上